

ポーランドから坂本龍太郎さんが来町しました

町は令和6年10月に、ポーランドツェレスティヌフ郡と坂城町国際交流協会、ツェレスティヌフ郡国際交流協会の4者で「フレンドシップ協定に関する合意書」に調印しました。その際に両自治体の橋渡し役を務めていただいたワルシャワ日本語学校の坂本龍太郎さんが2月10日(月)、役場に来庁しました。

町長は、調印式の際にお世話になったお礼と今後の交流について触れ、「ウクライナの支援は引き続き坂城町国際交流協会を通して行っていきたい。今後はフレンドシップ協定にもあるように、文化、教育などの交流を更に深めていきたい」と述べると、坂本さんからは、「今までの支援に感謝している。現在もウクライナは戦争状態が続いており、今は防寒用品などの物資を送っている。フレンドシップ協定締結により、人的な交流をよ



▲(左から) 臼井副町長、坂城町国際交流協会 竹内敏正副会長、山村町長、坂本さん、坂城町国際交流協会 安島ふみ子会長、塚田教育長



▲村上小学校での講演会の様子

り推し進めていきたい。特に未来を担っていく子どもたちがおしが国を超えてオンライン・オフラインで交流していくことの意義は大きいとツェレスティヌフ郡などは考えている」と応えていました。

また、今回来日した大きな目的として、「日本では、ウクライナのニュースが少なくなっているが、戦争は未だ続いているので、もう一度、ウクライナの現状に目をむけてほしいと思って来日した。終戦後、復興を担うのは、現在小中学生くらいの子どもたちになると思っている。子どもたちは、戦時下で辛い日々を過ごしているが、そういった中でも笑顔になることもある。こういう子どもたちの日常をもっと知ってもらい、日本とウクライナ、ポーランドの子ども

たちがお互いに「平和」について考えてほしい」と話していました。

坂本さんは、2月13日(木)に坂城町国際交流協会主催の講演会、翌14日(金)には町内小学校で講演を行い、聴講した皆さんは、メモを取るなど、熱心に話を聞いていました。

第10分団に新しい積載車が整備されました



この度、坂城町消防団第10分団に新しい軽四輪駆動積載車が整備されました。

新積載車は、後部座席に屋根があるデッキバンタイプで、順次このタイプに更新をしているところです。乗員の安全性が向上するほか、悪天候時の移動の疲労を軽減することができ、広報啓発活動もよりスムーズに行えるようになります。

今後も引き続き、地域防災力の向上と地域の安心・安全のため、予防消防をはじめとする消防団活動を実施していきます。

田町区で交通安全祈願祭が執り行われました

田町区より2月16日(日)に行われた「交通安全祈願祭」の写真をいただきました。

この祈願祭は毎年この時期に行われているもので、今年で59回目を迎えるそうです。歴史ある祭りなんですね！

当日は、地区の役員の皆さんや子どもたちが参加して、(株)都筑製作所の近くの道祖神の前で安全祈願を行ったそうです。

皆さんも今年1年交通安全に努めていきましょう！

